

農業農村工学 JABEE 大学支援事業の創設

1 JABEE 制度について

JABEE 制度は、国際的に通用する技術者の育成を通じて社会と産業の発展に寄与することを目的として、一般社団法人日本技術者教育認定機構（JABEE）が行う事業の総称である。

この事業の一つとして、大学等が行う技術者育成のための専門教育プログラムの認定があり、当該プログラムの卒業者は技術士の受験資格である実務経験年数が大幅に短縮されることから、JABEE 制度は、建設コンサルタント等の当協会会員企業における人材育成に大きなメリットを与えている。

また、認定されたプログラムは、国際的にも通用する内容であることを示すものであり、農業農村工学分野において認定された各大学のプログラムをもって、農業農村工学教育における国際的に通用する標準カリキュラムが形成されている。

なお、農業農村工学を学べる大学（36 大学）のうち、当該プログラムの認定を持つ大学は 13 大学となっている。

2 JABEE 認定維持料の値上げ

JABEE は、現在、認定プログラムの継続辞退や新たな申請減少等から経営状態の改善が課題となっており、2025（令和 7）年度より、JABEE 認定維持料が値上げされることとなった。

しかしながら、JABEE プログラムを維持する国立大学においては、全収入に対する運営交付金の割合がこの 20 年で 47% から 30.3% に減少し、かつ総額も減少していることから、大学の裁量幅が大幅に減少しており、認定維持料の値上げに対応が困難な状況となっている。

JABEE 制度が適切かつ安定的に運用されることにより、我が国の農業農村工学教育は国際的同等性が確保され、また、同時に輩出人材の

工学的レベルが確保されることにより、発注者（農政局、県等）、受注者双方の業務の品質も確保され、教育負担の軽減にもつながっている。

3 （一社）農業土木事業協会における支援事業の創設

このような状況を踏まえ、（公社）農業農村工学会と当協会が連携し、JABEE プログラムを維持する大学に対して、一定の財政支援を行うことについて、令和 7 年 3 月の理事会で決定した。当協会における特定寄付金制度を活用し、趣旨に賛同する会員企業から特定寄付金を募集したところ、12 社から寄付金の申し出があり、令和 7 年度から支援事業を開始した。

【参考】農業農村工学 JABEE 大学支援事業実施規程（抄）

（目的）

第 1 条 この規程は、（一社）日本技術者教育認定機構（以下、「JABEE」という）により農業農村工学に関する専門教育プログラムの認定を受けている大学に対し、毎年度 JABEE 認定維持料の一部を助成し、大学における費用負担の軽減と農業農村工学に関する JABEE 認定を受けたプログラムの維持を図ることを目的とする。

（対象となる大学）

第 2 条 この事業の対象となる大学は、すでに農業農村工学に関する JABEE 認定を受けた専門教育プログラムを維持している大学あるいは専門教育プログラムの認定を受ける予定の大学で、次の各号の要件に該当する大学とする。

（1）大学における財政難から JABEE 認定に当たり助成が必要な大学

（2）助成後の JABEE 認定維持料の残額について、資金調達の目途が立っている大学

未来の農業土木を支える 技術者育成を支援します



(JABEE 支援マーク)



私たち12社は農業土木事業協会を通じてJABEE認定13プログラムの認定維持費を支援しています。
そして修習技術者（JABEE修了者）を優遇し、技術力を高めるキャリアパスを用意しています。

■教育機関とプログラム

- ・ 弘前大学 農業土木コース
- ・ 北里大学 環境修復プログラム
- ・ 宇都宮大学 水土環境工学食料生産システム工学コース
- ・ 日本大学 地域環境工学プログラム
- ・ 東京農業大学 農業工学プログラム
- ・ 三重大学 農業土木学プログラム
- ・ 神戸大学 地域環境工学プログラム
- ・ 島根大学 地域工学コース
- ・ 岡山大学 環境管理工学科環境社会基盤系環境マネジメントコース
- ・ 高知大学 生産環境管理学プログラム
- ・ 愛媛大学 農業土木プログラム
- ・ 九州大学 生物生産環境工学プログラム
- ・ 琉球大学 地域環境工学コース



農業農村工学会と農業土木事業協会は2024年5月29日農業農村工学系技術者の確保・育成に関する連携協定を結んでいます。

